

護衛艦「くらま」と貨物船との衝突について

1. 発生日時

10月27日（火）1956頃

2. 場所

関門海峡 ^{はやとも}早鞆の^{せと}瀬戸（関門大橋のほぼ真下）

3. 衝突した船

護衛艦「くらま」（艦長：^{かしはらまさとし}柏原正俊 1等海佐）5,200t（297名乗艦）

韓国籍船貨物船「CARINA STAR」（カーリーナ・スター）7,400t（16名乗船）

4. 現場気象

風：東4ノット、視程：3～4km、波：ほとんどなし

5. 状況

- ・「くらま」は観艦式を終えて、26日（月）1221頃に横須賀を出航し、28日（水）0900頃に佐世保に到着予定であった。
- ・27日（火）1956頃に両船が衝突し、双方で火災が発生。また、同分頃に、「くらま」から門司海上保安部に連絡。
- ・「くらま」については前部で火災が発生し、艦首喪失。
- ・相手船については右船首の部分を破損。27日（火）2035頃に火災が鎮火した。（海上保安庁情報）
- ・海上保安官3名が、28日（水）0032頃に「くらま」に乗艦。
- ・「くらま」は、28日（水）0516頃に門司港に接岸完了。0630頃に火災が鎮火した。

6. 負傷者等

- ・くらまの乗員1名が裂傷を負ったほか、乗員3名が煙を吸い込んだ。（4名については病院に搬送されたが、全員退院済）また、脱水症状を訴えた乗員が2名。
- ・相手船については負傷者なし。（海上保安庁情報）

7. 大臣報告等

- 27日(火) 2010頃 防衛大臣に報告
2011頃 内閣情報集約センターに連絡
2050頃 防衛大臣登庁、対策本部設置
2130頃 海上自衛隊艦船事故調査委員会(委員長:海幕監察官)を設置。じ後、現地にメンバーを派遣。
- 28日(水) 0130頃 防衛副大臣現場付近到着。事故後の状況を確認。
0740頃 防衛副大臣が接岸した「くらま」の状況を確認。
その後 防衛副大臣が関係自治体(北九州市長、福岡県知事、下関市長、山口県知事)を訪問・説明

8. 今後の対応

海上自衛隊艦船事故調査委員会が、海上保安庁や運輸安全委員会の調査等に配慮しながら、事故原因の究明及び再発防止の検討のために必要な調査を進めていく。